

企業局 成果報告

企業管理者 前田 和宏

上下水道経営部長 土田 将一

上下水道事業部長 海道 克也

部局達成度

				
1	10	-	1	3

総括

企業局では、令和2年度に下水道事業と組織統合を行い、水道および下水道サービスをより安全かつ安定的に継続できるよう努めています。

水道事業については、「福井市水道事業ビジョン2020」に基づき、引き続き安定経営に努めるとともに、安全で安心な水を安定的に供給するため、基幹管路の耐震化の推進とともに、施設の計画的な整備や更新による予防保全に取り組みました。

簡易水道についても、統合事業の推進や老朽化した設備の更新とともに、水質保全に取り組みました。

また、下水道事業については、「福井市下水道事業経営戦略」を改定し今後の事業計画を見直したところです。

未普及地区解消に向けて公共下水道の計画的な普及拡大を図るとともに、管路の長寿命化及び耐震化に取り組みました。雨水対策においては、「福井市下水道雨水対策基本計画」と「福井市下水道内水ハザードマップ」の改定を行いました。また、処理場、ポンプ場では、「福井市下水道ストックマネジメント計画」に基づき下水道施設の長寿命化を図るとともに、ポンプ場の更新や施設の耐水化を行い、災害に強い施設整備に取り組みました。

水道、簡易水道、下水道事業とも、今後も引き続き、経営の健全化に努めるとともに、将来にわたって安定したサービスを提供するために必要な事業に取り組んでいきます。

組織目標ごとの達成状況

I. 上下水道事業の一層の健全経営に努めます

上下水道事業とも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がある中、より一層の業務の効率化を図り、各指標の目標を達成しました。

水道事業については、令和2年3月に策定した水道事業ビジョン2020に基づき、概ね計画通り事業を進めることができました。

下水道事業については、経営戦略を令和4年3月に改定しました。今後も進捗管理を徹底しながら安定した経営に努めます。

また、市民に上下水道について関心を持ってもらえるよう、今後もPRイベントや説明会など様々な広報活動を展開していきます。

II. 安全でおいしい水を安定供給します

基幹管路の耐震化については、水道事業ビジョン 2020 に基づき九頭竜原目送水管更新工事等の整備を行い、耐震化率の目標を達成しましたが、水道管路の更新と維持管理については、塗料メーカーの不適切行為による管材出荷停止等の影響を受け、無ライニング鑄鉄管布設替工事の一部の完成が不可能となり、数値目標を達成できませんでした。今後は5月完成を目指し、適正な工程管理に努めます。また、施設の予防保全についても分解整備を予定していた配水施設の一部に著しい脆化が見られたことから当初計画の工程を延長したため、目標を達成できませんでした。今後は9月完成を目指し、適正な工程管理に努めます。水質検査体制については、職員の検査技術の向上や検査機器の更新等を行い、自己水質検査率の目標を達成しました。

簡易水道事業の整備推進については、下味見地区統合事業において浄水場建屋建築工事の完了を掲げていましたが、業者の応札に至らず目標を達成できませんでした。今後、設計書を精査し、令和4年度未完了を目指します。水質保全については、計画した全ての配水池及びろ過池の清掃を行いました。

引き続き安全でおいしい水を安定的に供給するため、管路や施設の耐震化、更新の推進や適切な維持管理に努めます。

III. 安全で快適な下水道サービスを提供します

未普及地区の整備については、着実に汚水管を整備し、人口普及率の目標を達成しました。また、下水道管の長寿命化及び耐震化についても目標を達成しました。

雨水対策事業については、「福井市下水道雨水対策基本計画」を改定するとともに、「福井市浸水ハザードマップ」を「福井市下水道内水ハザードマップ」と名称変更し改定しました。時間当たり降雨を最大規模の大雨に見直すとともに、「大雨に対する事前の備え」、「災害時の自衛策」等の情報・学習欄の充実を図り、対象世帯へ配布しました。

加茂河原ポンプ場の土木工事は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、目標を達成できませんでした。3月末の工事進捗率は、約91%を確保しました。今後は、各工事間の調整を行いながら、適切な工程管理に努め、令和5年度の供用開始を目指します。下水道施設の適切な維持管理と長寿命化及び耐水化については、計画どおり目標を達成しました。

今後も快適なサービスの提供や大雨に対する安全の確保のため、未普及地区の管路の整備や施設の耐震化・耐水化、改築、雨水対策の推進に努めます。

IV. 災害時に速やかに対応できるよう、危機管理能力の向上に取り組みます

令和2年度の組織統合により上下水道事業を企業局で一体的に行うこととなったことに伴い、企業局危機管理マニュアルを改定し、企業局災害対策本部等の体制の見直しを行うとともに、水道、下水道事業の業務継続計画を改定しました。

この危機管理マニュアルに基づき、市民生活に欠かすことのできないライフラインである水道、下水道施設が被災した場合でも速やかに復旧できるよう対応訓練を行っています。

今年度も、給水車や排水ポンプ車の操作訓練を始めとした現場対応訓練のほか、関係団体等と連携した訓練を行い、各指標の目標を達成しました。

今後も実践的な訓練を継続するとともに、事後評価により訓練手法等の改善を図り、危機管理能力の向上に努めます。

2	上下水道料金等の収納率向上		
実行内容			
行動目標	<p>上下水道料金等の徴収業務については、委託事業者と連携しながらお客様サービスの一層の向上に努めます。</p> <p>また、納付が困難な世帯や事業者からの相談があった場合、引き続き実情に配慮した納付相談を実施するなど、収納率の向上に取り組みます。</p>		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○滞納整理の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・夜間電話督促による長期滞納の未然防止（随時） ・転居者に対する精算金未収入分の休日電話督促及び訪問徴収（市内7月・12月、市外3月） ○実情に配慮した納付相談 <ul style="list-style-type: none"> ・お客様の実情に応じた納付相談の実施（随時） ○委託業者（ヴェオリア・ジェネッツ株）との定例会議 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回開催（12回） 		
指 標			
計 画		結 果・成 果	
過年度収納率：99.8%以上		過年度収納率：99.8%	
成果・課題	<p>上下水道料金等の徴収については、委託業者と連携を図り、従来から取り組んできた滞納整理訪問やお客様の実情に配慮した納付相談を引き続き実施することにより、目標を達成することができました。</p> <p>今後も、上下水道料金等の収納率の向上に努めます。</p>		

3	上下水道事業の見える化を推進		達成度 
実行内容			
行動目標	<p>上下水道は、地下に埋設されており日頃は目にする機会が少ないため、その役割や重要性について広く理解してもらい関心を高めてもらう必要があります。そのため、PR イベントや施設見学の実施、広報誌やホームページ、SNS やマンホールカードの配布など、幅広く情報の発信に努めます。</p>		
取組内容	<p>○施設見学ツアーや PR イベント等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンホール・ワン・コンテストの開催 (6月15日～7月9日) ・福井市上下水道展の開催 (7月25日) ・下水道ポスターコンクールの実施 (9月) ・くらしと下水道展の開催 (10月22日～10月26日) ・受験生を応援！マンホールカード配布事業の実施 (12月～2月) ・上下水道広報DVDの制作、 市立小学校への配布、貸出、YouTube での配信 (2月) <p>○企業局広報誌の発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業局広報誌「上下水道のミカタ」発刊 (7月号、11月号、3月号) 		
指 標			
計画		結果・成果	
施設見学ツアーや PR イベント等の開催：4 回以上 企業局広報誌の発刊：3 回		施設見学ツアーや PR イベント等の開催：6 回 企業局広報誌の発刊：3 回	
成果・課題	<p>企業局では、普段の生活ではなかなか目にする機会が少ない、水道と下水道の役割や仕組みについて理解を深めるため、様々な広報活動として、マンホール・ワン・コンテストや上下水道展を開催しました。</p> <p>また、現在、コロナ禍のため、上下水道施設の見学者受入れを一部中止している状況であることから、施設見学では見えない部分を見ることができるDVDの制作及び貸出をはじめ、広報誌の発刊、マンホールカードの配布等を実施しました。</p> <p>来年度以降もこれまでの取組を引き続き実施し、市民の方々に上下水道の役割や重要性について関心を持ってもらえるよう、積極的に発信していきます。</p>		

II. 安全でおいしい水を安定供給します

4	基幹管路の耐震化	 11 住み続けられるまちづくりを	 13 気候変動に具体的な対策を	達成度																			
実行内容																							
行動目標	<p>「福井市水道事業ビジョン2020」（令和2年度～10年度）で理想像として掲げた「災害に強い水道」を実現し、地震時においても安全でおいしい水を安定して供給するため、九頭竜原目送水管や田治島水源井導水管等の重要な基幹管路の耐震化を計画的に進めます。</p>																						
取組内容	<p>○基幹管路の耐震化</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">・九頭竜原目送水管更新工事（令和2年度繰越工事）</td> <td style="width: 15%;">0.41km</td> <td style="width: 35%;">（1月完成）</td> </tr> <tr> <td>・九頭竜原目送水管更新工事</td> <td>0.40km</td> <td>（3月完成）</td> </tr> <tr> <td>・田治島水源井導水管更新工事</td> <td>0.98km</td> <td>（3月完成）</td> </tr> <tr> <td>・九頭竜森田相互連絡管整備工事</td> <td>1.14km</td> <td>（1月完成）</td> </tr> <tr> <td>・重要給水施設配水管等耐震化工事</td> <td>0.17km</td> <td>（3月完成）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">計</td> <td>3.10km</td> </tr> </table>					・九頭竜原目送水管更新工事（令和2年度繰越工事）	0.41km	（1月完成）	・九頭竜原目送水管更新工事	0.40km	（3月完成）	・田治島水源井導水管更新工事	0.98km	（3月完成）	・九頭竜森田相互連絡管整備工事	1.14km	（1月完成）	・重要給水施設配水管等耐震化工事	0.17km	（3月完成）	計		3.10km
・九頭竜原目送水管更新工事（令和2年度繰越工事）	0.41km	（1月完成）																					
・九頭竜原目送水管更新工事	0.40km	（3月完成）																					
・田治島水源井導水管更新工事	0.98km	（3月完成）																					
・九頭竜森田相互連絡管整備工事	1.14km	（1月完成）																					
・重要給水施設配水管等耐震化工事	0.17km	（3月完成）																					
計		3.10km																					
指 標																							
計 画			結 果・成 果																				
②8 基幹管路の耐震管率 : 33.9%（元年度） →35.8%（2年度）→37.5%（3年度）			②8 基幹管路の耐震管率 : 37.5%																				
成果・課題	<p>災害時においても安定した水道水を供給するため、「福井市水道事業ビジョン2020」に基づき基幹管路の耐震化を進め、目標を達成することができました。</p> <p>来年度以降も引き続き、「災害に強い水道」の実現を目指し、基幹管路の耐震化を進めます。</p>																						

5	 	達成度	
実行内容			
行動目標	<p>安全でおいしい水を安定的に供給するため、更新時期を迎えた無ライニング铸铁管を計画的に更新します。また、漏水を早期に発見し、水資源の有効利用と道路陥没等の二次災害を防止するため、定期的に漏水調査を実施します。</p>		
取組内容	<p>○無ライニング铸铁管の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無ライニング铸铁管布設替工事（令和2年度繰越工事） 0.39km （5月完成） ・無ライニング铸铁管布設替工事 4.06km （3月完成） <p style="text-align: right;">計 4.45km</p> <p>○無ライニング铸铁管の残存延長 (R2末 無ライニング管残存全延長) - (R3 更新延長) = 36.3km - 4.5km = 31.8km</p> <p>○漏水調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏水調査業務 （12月完了） 		
指 標			
計画		結果・成果	
<p>無ライニング铸铁管の残存延長 : 39.9km (元年度) →36.3km(2年度) →31.0km(3年度)</p> <p>漏水調査業務の完了: 12月</p>		<p>無ライニング铸铁管の残存延長 : 31.8km</p> <p>漏水調査業務の完了: 12月</p>	
成果・課題	<p>「福井市水道事業ビジョン2020」に基づき、無ライニング铸铁管の更新を進めましたが、1月に発覚した塗料メーカーの不適切行為による管材出荷停止等の影響のため、一部の工事において年度内の完成ができませんでした。引き続き、適正な工程管理に努め、早期完成を目指します。</p> <p>漏水調査については、計画どおり発注し、目標を達成することができました。調査により発見した216箇所の漏水箇所については、全ての箇所において補修工事を実施し、水道管からの漏水を止めることができました。</p> <p>今後も引き続き、安全でおいしい水を安定的に供給できるよう、水道管路の計画的な更新及び維持管理に努めます。</p>		

6	簡易水道事業の整備推進			達成度	
実行内容					
行動目標	簡易水道において、安全でおいしい水を安定的に供給するため、維持管理の効率化を図る統合事業及び老朽化施設の更新事業を進めます。				
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○下味見地区簡易水道統合事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・西河原浄水場建屋建築工事の発注 ・西河原水源取水柵設置工事 (12月完成) ○簡易水道更新事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・下葉師地区の水源取水柵改良工事 (11月完成) ・上吉山地区の取水ポンプ・取水流量計更新工事 (12月完成) 				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
下味見地区簡易水道統合事業 浄水場建屋建築及び水源取水柵設置の完了 簡易水道更新事業 水源取水柵改良工事：1カ所 取水ポンプ・取水流量計更新工事：1カ所			下味見地区簡易水道統合事業 浄水場建屋建築：未完了 水源取水柵設置：完了 簡易水道更新事業 水源取水柵改良工事：1カ所 取水ポンプ・取水流量計更新工事：1カ所		
成果・課題	<p>下味見地区簡易水道統合事業のうち、水源取水柵設置は予定通り完了しましたが、浄水場建屋建築は、設計内容や施工期間の設定において捉え方に相違があったと考えられ、受注業者の応札に至らず、工事の着工が出来ませんでした。今後、設計書を精査し、令和4年度未完了を目指します。</p> <p>なお事業全体のスケジュールには影響を及ぼさないよう、今後予定している各種工事の調整を綿密に図り、予定通り令和7年度末供用開始に向け実施します。</p> <p>簡易水道更新事業につきましては、目標通り完了しました。今後も引き続き機能維持等を目的とした計画的な更新事業を行います。</p>				

7	簡易水道事業の水質保全		達成度	
実 行 内 容				
行動目標	簡易水道の水質を保つため、32カ所ある簡易水道施設の配水池及びろ過池の清掃を、年度計画に基づき実施するとともに、目詰まり等による運用支障があった場合は随時清掃を行います。			
取組内容	<p>○簡易水道施設清掃の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配水池清掃：16池（6月～12月） ・ろ過池清掃：4池（4月～9月） 			
指 標				
計 画		結 果 ・ 成 果		
簡易水道施設清掃 配水池清掃：16池 ろ過池清掃：4池		簡易水道施設清掃 配水池清掃：16池 ろ過池清掃：4池		
成果・課題	今年度は、配水池16池とろ過池4池の清掃を目標通りに行うことが出来ました。 来年度も計画的に施設清掃を実施し、安全で安心な水を安定的に給水できるよう努めます。			

8	水道施設の予防保全の推進	 6 安全な水とトイレを世界中に	 11 住み続けられるまちづくりを	達成度	
実行内容					
行動目標	<p>水道施設や設備の多くが更新時期を迎えており、安全でおいしい水を安定供給するには、適正に維持管理する必要があります。</p> <p>そのため、予防保全を推進し、安定給水を図ります。</p>				
取組内容	<p>○水道施設の予防保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取水施設：取水ポンプ設備更新工事（九頭竜深 16 水源井外）（12 月完成） ・浄水施設：水質計器設備更新工事（九頭竜浄水場）（3 月完成） ・配水施設：配水ポンプ 3 号ルート弁分解整備工事（九頭竜浄水場）（3 月）進捗率 69% 				
指 導					
計 画			結 果・成 果		
<p>水道施設の予防保全</p> <p>取水施設：取水ポンプ設備更新工事（九頭竜深 16 水源井外）</p> <p>浄水施設：水質計器更新工事（九頭竜浄水場）</p> <p>配水施設：配水ポンプ 3 号ルート弁分解整備工事（九頭竜浄水場）</p>			<p>水道施設の予防保全</p> <p>取水施設：取水ポンプ設備更新工事（九頭竜深 16 水源井外）：完成</p> <p>浄水施設：水質計器設備更新工事（九頭竜浄水場）：完成</p> <p>配水施設：配水ポンプ 3 号ルート弁分解整備工事（九頭竜浄水場） ：令和 4 年 9 月完成予定</p>		
成果・課題	<p>水運用中の施設を停止することなく工程管理を行い、取水施設の取水ポンプ設備、浄水施設の水質計器設備の更新工事を予定通り完成することができました。</p> <p>配水施設の配水ポンプ 3 号ルート弁分解整備工事のルート弁とは、市内に配水するための極めて重要な弁ですが、工場にて分解したところ整備対象部品（弁体）の母材が著しく脆化していたため、当初予定していた工程を延期せざるを得なくなり、年度内の完成が出来なくなりました。</p> <p>今後は水道施設の予防保全について、保守点検の年次計画を精査して更新及び整備工事を行い、安全で安心な水道水の安定供給を図ります。</p>				

9	安全な水道水をお届けするための水質検査体制		達成度	
実 行 内 容				
行動目標	<p>本市は、水道法で定められている水質基準 51 項目全ての水質検査を職員自らが行っており、水道 G L P の認定を取得している全国でも数少ない水道事業体です。このことは、本市の水質検査の信頼性が確保されている証となるものです。前年度も維持審査を経て、引き続き認定が維持されているところです。</p> <p>安全で安心な水道水をお届けするために、この管理された水質検査体制の下、適正に自己水質検査を行います。</p>			
取組内容	<p>○自己水質検査率 100%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画に基づく水質検査の実施 (通年) (市内給水栓水、九頭竜浄水場の浄水・配水などの水質検査) ・厚生労働省水道水質検査精度管理調査への参加 (6月) ・水道 G L P に基づく内部精度管理の実施 (7月～3月) ・検査機器保守点検の実施 (9月～12月) ・水道 G L P に基づく内部監査の実施 (10月、3月) ・検査機器取扱研修の受講 (12月、1月) ・検査機器の更新：2台 (1月) ・検査の精度管理セミナーの受講 (2月) ・厚生労働省水道水質検査精度管理研修会の受講 (3月) 			
指 標				
計画		結果・成果		
自己水質検査率：100%		自己水質検査率：100%		
成果・課題	<p>水質管理職員は、高い精度の自己水質検査を行うため、積極的な研修会の受講や精度管理の徹底により、検査技術の研鑽に努めています。また、検査機器については、検査精度を維持するため保守点検の実施や更新計画に基づいた入替を行うことにより、目標を達成することができました。</p> <p>来年度は日本水道協会が審査を行う水道 G L P の認定を更新し、採水から分析・評価までの検査過程について、高い精度の水質検査体制を維持することにより、安全で安心な水道水の安定供給を図っていきます。</p>			

11	雨水対策事業の推進	 11 住み続けられるまちづくりを	 13 気候変動に具体的な対策を	達成度	
実行内容					
行動目標	<p>近年多発している局所的集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、浸水常襲地区の雨水対策を進めます。</p> <p>平成 27 年度に策定した「福井市下水道雨水対策基本計画」（平成 27 年度～令和 5 年度）の改定を進めており、今年度内には改定された計画を公表します。</p> <p>また、平成 19 年度に作成した浸水ハザードマップの改定も進めており、今年度中にホームページに公表するとともに対象地区の市民へ配布します。計画降雨を超える雨に対しては掲載した情報を活用していただくことで、自助支援の強化を行い、住民への浸水被害軽減を図ります。</p> <p>さらに、処理場・ポンプ場の耐水化についても、新たに耐水化計画を策定し取り組みます。</p>				
	取組内容	<p>○福井市下水道雨水対策基本計画の改定とHPへの公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水対策基本計画改定業務とHPへの公表 (3月) <p>○福井市浸水ハザードマップ改定と市民への配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市浸水ハザードマップ改定と市民への配布 (3月) <p>○施設の耐水化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・処理場・ポンプ場の耐水化計画策定業務 (3月完了) ・大瀬ポンプ場耐水化工事 (2月完成) ・清水東部環境センター耐水化工事 (2月完成) ・日野川浄化センター放流ポンプ棟耐水化工事 (3月完成) 			
指 標					
計画			結果・成果		
<p>②1 下水道による都市浸水対策達成率 : 84.2%</p> <p>福井市下水道雨水対策基本計画の改定とHPへの公表 : 3月</p> <p>福井市浸水ハザードマップの改定と市民への配布 : 3月</p> <p>処理場・ポンプ場の耐水化計画の策定 : 3月</p>	<p>②1 下水道による都市浸水対策達成率 : 84.2%</p> <p>福井市下水道雨水対策基本計画の改定とHPへの公表 : 3月</p> <p>福井市浸水ハザードマップの改定と市民への配布 : 3月</p> <p>処理場・ポンプ場の耐水化計画の策定 : 3月</p>				
成果・課題	<p>福井市下水道雨水対策基本計画は、3月に改定し、HPにて公表しました。</p> <p>また、福井市浸水ハザードマップについては、福井市下水道内水ハザードマップと名称を変更し、浸水想定区域図を想定される最大規模の大雨に見直すとともに、「大雨に対する事前の備え」、「災害時の自衛策」等の情報・学習欄の充実を図り、3月にはHPへの公表と、対象世帯へ配布しました。</p> <p>さらに、処理場・ポンプ場の耐水化計画の策定についても、目標どおり完了しました。</p> <p>今後も、福井市下水道内水ハザードマップを有効に活用していただけるよう広報・啓発活動に努めるとともに、ハード・ソフトの両面から雨水対策事業を推進します。また、処理場・ポンプ場の耐水化を図るなど、市民生活の安全で安心な生活環境づくりに取り組みます。</p>				

12	下水処理場・ポンプ場の更新整備			達成度	
実行内容					
行動目標	<p>下水の処理場及びポンプ場は、安全で安心な生活に不可欠な施設です。耐震基準を満たさない老朽化した下水のポンプ場もあり、それらについて更新整備を進めます。</p> <p>特に、令和元年度から着手している加茂河原ポンプ場更新事業を着実に進めることで、5年度の供用開始を目指します。</p> <p>また、羽生浄化センターは、美山地区の下水道整備を早期に進めるために暫定整備した処理場であり、処分制限期間が満了する令和3年度末までに、終末処理場である美山浄化センターに集約します。</p>				
取組内容	<p>○加茂河原ポンプ場更新事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事 (3月) 進捗率約91% ・機械設備工事 (7月着工) ・排水樋管工事 (7月着工) ・電気設備工事 (9月着工) ・流入管渠工事 (10月着工) ・建築工事 (12月着工) <p>○足羽ポンプ場更新事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定に基づく基本設計業務 (3月完了) ・左内公園再整備に関する地元説明会の開催 (10月、12月) <p>○美山浄化センター増設事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気設備工事 (2月完成) ・機械設備工事 (2月完成) ・管路布設工事 (3月完成) 				
指 標					
計 画			結 果・成 果		
加茂河原ポンプ場更新事業の土木工事完成：3月			加茂河原ポンプ場更新事業の土木工事完成		
足羽ポンプ場更新事業の基本設計完了：3月			：令和4年6月完成予定		
美山浄化センター増設事業の完了：3月			足羽ポンプ場更新事業の基本設計完了：3月		
			美山浄化センター増設事業の完了：3月		
成果・課題	<p>加茂河原ポンプ場更新事業の土木工事については、新型コロナウイルス感染症の拡大による資材の納入の遅れや必要な作業員を十分確保できない等の要因により工程が遅延し、目標の3月には工事を完成することができませんでした。3月末の工事進捗率は約91%を確保できました。</p> <p>今後は、事業全体の工程が遅れないよう、各工事間の調整を行いながら、適切な工程管理に努め、令和5年度の供用開始を目指します。</p> <p>足羽ポンプ場更新事業については、日本下水道事業団と協定を締結し、目標どおり基本設計業務が完了しました。また、ポンプ場更新を契機とした左内公園の再整備については、地元説明会の開催により広く意見を伺い、基本計画を取りまとめました。</p> <p>美山浄化センター増設事業については、目標どおり工事が完成し、美山地区の終末処理場を美山浄化センターに集約しました。</p>				

13	下水道施設の適切な維持管理と長寿命化への対策			達成度	
----	-------------------------------	--	---	-----	---

実 行 内 容

行動目標 下水道施設の機能を維持するため、改築及び調査・診断を計画的に行うとともに、下水道施設全体の適切な維持管理を行い、長寿命化に取り組みます。

取組内容	<p>○下水道管路の長寿命化</p> <p>下水道管改築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度繰越工事 1.07 km 完成 ・令和3年度工事 2.77 km 完成 <hr/> <p style="text-align: center;">計 3.84 km</p> <p>TVカメラ調査・解析・診断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TVカメラ調査業務 15.5 km 完了 ・管路解析・診断業務 15.4 km 完了 <p>○下水道施設の長寿命化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水処理設備 : 攪拌曝気装置長寿命化工事 (清水東部環境センター) (3月完成) ・ポンプ設備 : 汚水吐出弁更新工事 (水越ポンプ場) (3月完成) ・自家発電設備 : 自家発電装置長寿命化工事 (清水西部環境センター) (3月完成)
-------------	---

指 標

計 画	結 果・成 果
<p>下水道管路の長寿命化</p> <p>下水道管の改築：橋北、北部排水区等 3.4 km</p> <p>TVカメラ調査：橋南排水区 15.0 km</p> <p>解析・診断 : 橋南排水区 15.4 km</p> <p>下水道施設の長寿命化</p> <p>水処理設備 : 攪拌曝気装置長寿命化工事 (清水東部環境センター)</p> <p>自家発電設備 : 自家発電装置長寿命化工事 (清水西部環境センター)</p> <p>ポンプ設備 : 汚水吐出弁更新工事 (水越ポンプ場)</p>	<p>下水道管路の長寿命化</p> <p>下水道管の改築：橋北、北部排水区等 3.8 km</p> <p>TVカメラ調査：橋南排水区 15.5 km</p> <p>解析・診断 : 橋南排水区 15.4 km</p> <p>下水道施設の長寿命化</p> <p>水処理設備 : 攪拌曝気装置長寿命化工事 (清水東部環境センター)</p> <p>自家発電設備 : 自家発電装置長寿命化工事 (清水西部環境センター)</p> <p>ポンプ設備 : 汚水吐出弁更新工事 (水越ポンプ場)</p>

成果・課題 下水道管路の長寿命化工事及びTVカメラ調査・解析・診断については、計画どおり順調に事業を進め、年度内整備目標を達成しました。

また、下水道施設の長寿命化工事についても、目標どおり完成しました。

引き続き、下水道施設全体の長寿命化に取り組み、安定した下水道サービスの提供に努めます。

14	下水道管路の耐震化	 11 住み続けられるまちづくりを	 13 気候変動に具体的な対策を	達成度	
----	-----------	--	--	-----	---

実行内容

行動目標

市民生活に欠かすことの出来ない重要なライフラインである下水道管路は、地震時においても下水道の機能を確保する必要があるため、耐震化を進めます。

取組内容

○下水道管路の耐震化推進に係る取り組み

・普及拡大工事

令和2年度繰越工事	5.50 km	完成
令和3年度工事	15.07 km	完成
計	20.57 km	

・管路改築工事

令和2年度繰越工事	1.07 km	完成
令和3年度工事	2.77 km	完成
計	3.84 km	

指 標

計画

結果・成果

②6 下水道管路の耐震化率
 : 48.1% (元年度) →49.0% (2年度)
 →49.9% (3年度)

②6 下水道管路の耐震化率
 : 49.9%

成果・課題

下水道管路の耐震化については、適切な工程管理、安全管理に努め、年度内整備目標を達成しました。

今後も、効率よく整備を進めるため、適切な工程管理、安全管理に努め引き続き取り組みます。また、来年度は全ての下水道管路施設に対し、管路施設耐震診断（簡易診断）を行います。

IV. 災害時に速やかに対応できるよう、危機管理能力の向上に取り組みます

15	自然災害の発生に対応するための訓練の実施			達成度	
実 行 内 容					
行動目標	<p>市民生活に欠かすことのできないライフラインである水道・下水道について、地震等の災害が発生した場合でも速やかに現場の対応ができるよう、企業局危機管理マニュアル等に基づき企業局独自の対応訓練を行います。</p> <p>また、企業局だけでは対応できない場合を想定し、関係団体や民間事業者等と合同で訓練を行い、更なる危機管理能力の向上に努めます。</p>				
取組内容	<p>○企業局防災訓練 (風水害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水ポンプ車運転操作訓練 (5月25日)、給水車運転操作訓練 (5月27日) ・風水害対応訓練は、大雨警報発令による水防対応のため中止 (7月8日 (予備日:7月9日)) <p>(震災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災対応訓練 (11月16日) <p>○関係団体等との合同防災訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本水道協会中部支部合同防災訓練 (11月4日) ・下水道災害協定団体合同防災訓練 (11月19日) 				
指 標					
計画			結果・成果		
企業局防災訓練 (震災・風水害) : 2回 関係団体等との合同防災訓練 : 2回			企業局防災訓練 (震災・風水害) : 2回 関係団体等との合同防災訓練 : 2回		
成果・課題	<p>企業局では、上下水道担当職員を対象として、近年頻発しているゲリラ豪雨、台風の影響による浸水被害等に対応するため、排水ポンプ車及び給水車運転操作訓練を実施するとともに、地震を想定した訓練を実施しました。</p> <p>また、大規模災害時における、連携した支援活動が円滑に行えるよう、災害応援協定締結団体等との実践的な訓練も実施しました。</p> <p>今後も、大規模災害を想定した訓練や、他団体と連携した訓練を行うとともに、評価を行い、必要に応じて改善を図り、危機管理能力の向上に努めていきます。</p>				

